

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふるさと

目標達成計画

作成日: 令和 6年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居年数が長い方が多く、重篤化がみられる中でも、ふるさとの理念でもある外気や自然を感じられる支援に努めたい。可能ならば以前のようにふるさと一同での外出を実行し、利用者様に楽しんでいただきたい。	ふるさと一同にて外出し、楽しんでいただき生活の意欲向上に繋げたい。	行先の下見、候補を決め、移動手段、方法等、利用者様にできるだけ負担のかからない場所、方法を考え、まずは近場での外出にチャレンジしたい。	12ヶ月
2	11	職員の高齢化、利用者の重篤化から日々の業務をこなすことが困難に感じることもあった。そのため記録システムを導入し、それが大きな負担軽減へと繋がったと実感し、更なる職員への負担軽減と利用者様との共有時間の確保に向けて、新たな見守り機器等テクノロジーの導入をすすめたい。	見守り機器等テクノロジー導入による、職員の負担軽減、利用者様との共有時間の確保、機器を活用した事故予防	見守り機器の見定め、コスト、導入後に予想される問題点等をしっかり話し合い、導入へ向けて準備する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月